

高齢者に関する学習経験が「高齢期思考度」「高齢者支援度」を高める！

キーワード

中学生、高齢者学習、学習経験、高齢者思考度、高齢者支援度

結論
(エビデンス)

1. 中学生の高齢者に関する学習経験が「高齢期思考度」「高齢者支援度」を高める。
性別、高齢者との同居、出生順位、地域行事への参加の有無、高齢者に関する学習経験のうち、「高齢期思考度」「高齢者支援度」への影響が最も大きかったのは地域行事への参加の有無、次いで高齢者に関する学習経験の有無であり、中学生の学習経験が「高齢期思考度」「高齢者支援度」を高めていることが明らかとなった。
2. 「知識の説明・講義」「高齢者に関する調べ学習」「地域の高齢者との交流」の学習経験は「高齢者思考度」を高める。
「高齢期思考度」は、高齢者と直接ふれあわない学習が高齢者と直接ふれあう学習よりも平均得点が高かった。学習内容別では、「知識の説明・講義」「高齢者に関する調べ学習」「地域の高齢者との交流」の学習経験の「有」は「無」に比べて得点が有意に高い。

表3 内容別学習経験の有無による高齢期思考度

	高齢者と直接ふれあわない学習						調べ学習	
	知識・講義		体験グッズ		介助体験(生徒同士)		有	無
	有	無	有	無	有	無	有	無
人	157	282	118	317	25	4.0	64	373
平均得点	7.26	5.30	6.18	5.96	6.88	6.00	7.25	5.79
SD	4.38	3.71	4.19	4.02	5.81	4.01	4.39	3.97
t値	4.97***		0.51		1.06		2.67**	

	高齢者と直接ふれあう学習							
	高齢者が学校を訪問		地域の高齢者との交流		施設の高齢者との交流		高齢者へインタビュー	
	有	無	有	無	有	無	有	無
人	91	345	109	329	113	323	135	302
平均得点	6.47	5.92	6.99	5.69	6.65	5.78	6.19	5.92
SD	4.12	4.04	4.42	3.89	4.26	3.98	4.12	4.03
t値	1.16		2.91**		1.97		0.64	

*p<.05 **p<.01 ***p<.001

表4 内容別学習経験の有無による高齢者支援度

	高齢者と直接ふれあわない学習						調べ学習	
	知識・講義		体験グッズ		介助体験(生徒同士)		有	無
	有	無	有	無	有	無	有	無
人	144	267	108	299	23	384	58	351
平均得点	2.60	2.37	2.54	2.41	2.62	2.44	2.59	2.43
SD	0.69	0.67	0.71	0.68	0.78	0.68	0.69	0.69
t値	3.27**		1.52		1.20		1.63	

	高齢者と直接ふれあう学習							
	高齢者が学校を訪問		地域の高齢者との交流		施設の高齢者との交流		高齢者へインタビュー	
	有	無	有	無	有	無	有	無
人	87	321	105	305	108	363	124	285
平均得点	2.56	2.42	2.63	2.39	2.57	2.41	2.67	2.36
SD	0.68	0.69	0.63	0.70	0.68	0.69	0.66	0.68
t値	1.58		3.08**		2.01*		4.23***	

*p<.05 **p<.01 ***p<.001

3. 「高齢者とのインタビュー」「知識の説明・講義」「地域の高齢者との交流」「施設の高齢者との交流」の学習経験は、中学生の「高齢者支援度」を高める。

「高齢期支援度」は、高齢者と直接ふれあう学習が高齢者と直接ふれあわない学習に比べ平均得点が高かった。学習内容別では、「高齢者へのインタビュー」「知識の説明・講義」「地域の高齢者との交流」「施設の高齢者との交流」の学習経験の「有」は「無」に比べ得点が有意に高かった。

4. 以上のことから、中学校段階における高齢者に関する学習の重要性が示された。

内容説明

■調査方法

1. 中学生（沖縄県 A 中学校の 1～3 年生 472 名）対象に、無記名自記式質問紙調査を実施した。調査は 2007 年 5 月～9 月に実施した
2. 調査項目は、①対象者の属性、②高齢者に関する学習の経験と興味・関心、③高齢者思考度、④高齢者支援度である。

学校種

小・**中**・高・大・その他

領域・分野

家族・家庭生活 食生活 衣生活 住生活

高齢者福祉 保育 消費生活・環境 その他

論文名・題材名等

沖縄の中学生と高齢者に関する学習
—学習経験と高齢期思考度・高齢者支援度を中心に—

執筆者・実践者等
氏名・所属名

伊集章子（琉球大学 院生）、浅井玲子（琉球大学）

掲載・発表学会誌・報告書・雑誌・書籍等

日本家庭科教育学会誌
研究論文巻・号/
出版社他
(Op-Op)第 52 巻第 1 号
p. 11-17掲載・実践
年月日/
出版年2009 年
4 月